

令和7年度 第3回 川崎市地域公共交通会議 議事録

1. 開催概要

開催日時	令和8年1月28日(水) 10時00分から11時20分まで		
開催場所	川崎市役所本庁舎 まちづくり局会議室1		
議 事 (公開)	(1) 麻生区高石地区コミュニティ交通「山ゆり号」の運行計画変更について【協議事項】 (2) 令和7年度第3回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について【報告事項】 (3) 宮前区平地区コミュニティ交通「つばめ号」の本格運行について【協議事項】 (4) 令和7年度第4回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について【報告事項】 (5) 川崎区の一部におけるオンデマンド交通「のるーと KAWASAKI」の本格運行について【協議事項】 (6) 令和7年度第5回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について【報告事項】 (7) 地域公共交通に係る意見交換【報告事項】		
出席委員 (13名)	(敬称略)		
	所 属	氏 名	備 考
	東海大学 工学部土木工学科 教授	梶田 佳孝	
	名古屋大学 特任准教授	有吉 亮	
	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部長 (一般乗合旅客自動車運送事業者)	井手 正一 郎	代理出席 橋山担当課 長
	川崎タクシー株式会社 代表取締役会長 (一般乗用旅客自動車運送事業者)	関 裕之	
	明生タクシー株式会社 常務取締役 (一般乗用旅客自動車運送事業者)	村岡 孝夫	
	高砂交通株式会社 総務部長	増村 幸一	
	一般社団法人 神奈川県バス協会 専務理事	関上 義明	欠席
	一般社団法人 神奈川県タクシー協会川崎支部 事務局長	大葉 章彦	代理出席 稲田事務局 長代理
	川崎市全町内会連合会 副会長	川島 要子	欠席
	市民(公募による選出)	坂尾 雅之	
	市民(公募による選出)	谷岡 功一	
	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官	森下 文章	代理出席 山崎運輸企 画専門官
	神奈川県県土整備局都市部交通政策課 副課長	廣野 修一	代理出席 臼井副技幹
	神奈川県交通運輸産業労働組合 幹事	小山 國正	欠席
	神奈川県警察本部 交通部 交通規制課 都市交通対策室長	馬場 広人	欠席
	川崎市 建設緑政局 総務部長	櫻井 雅幸	
	川崎市 まちづくり局 交通政策室長	塚田 雄也	
事務局	7名		
傍聴者	0名		

2. 会議内容

以下、進行内容を要約して記載。

(1) 麻生区高石地区コミュニティ交通「山ゆり号」の運行計画変更について【協議事項】

(2) 令和7年度第3回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について【報告事項】

梶田会長 まず、報告事項の「議事1、麻生区高石地区コミュニティ交通「山ゆり号」の運行計画変更について」及び「議事2、令和7年度第3回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について」を続けて、事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料1、2により、内容を説明。)

梶田会長 はい、ありがとうございました。それでは、麻生区高石地区コミュニティ交通「山ゆり号」の運行計画変更について、報告いただきました。ご説明いただいた内容について、何かご質問等ございましたらお願いできればと思いますがいかがでしょうか。

有吉副会長 サポーター制度を廃止されるということで、その要因がサポーター数の減少とありますが、その推移はどのようになっているのでしょうか？

事務局 運行開始時には約200名弱でしたが、直近ですと約50名程度と約150名程減少しています。

有吉副会長 今後、サポーターのような運行に関する地域の協力者はどのように増やす方向でしょうか？

事務局 地域の方たちと今何かをするのではなく、サポーター制度を廃止する中での今後の地域のあり方を見て方向性を検討する予定です。

橋山委員 運賃が下がると収支率も下がると思われますが、今時点での収支率はどのくらいあるのでしょうか？

事務局 具体的な数字は申し上げられませんが、黒字化は出来ておりません。

橋山委員 運行を続けるにあたって、具体的な継続基準等は設けられているのでしょうか？

事務局 運行継続にあたって具体的な判断基準は設けておりません。

(3) 宮前区平地区コミュニティ交通「つばめ号」の本格運行について【協議事項】

(4) 令和7年度第4回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について【報告事項】

梶田会長 ありがとうございます。他にご質問はございませんでしょうか。

それでは続いて、「議事3、宮前区平地区コミュニティ交通「つばめ号」の本格運行について」及び「議事4、令和7年度第4回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料3、資料4により、内容を説明。)

梶田会長 はい、ありがとうございました。それでは、先ほどのご説明の内容で何かご質問等ございましたらお願いできればと思います。いかがでしょうか。

橋山委員 地元地域の交通事業者と事前協議は行っているのでしょうか？

事務局 市バスや東急バスと事前に協議を行っています。

山崎委員 使用するのはタクシー車両ということですが、満席で乗れないことはあるのです

ようか？また月曜日と金曜日に絞っているのは何かその曜日に需要があるのでしょうか？

事務局 はい、今年度よりも乗員人数の多い車両を利用するため、満席で乗れないという課題については解消されると思われます。また月曜日と金曜日の運行については運行効率を含め決めておりますが、地域の方がつばめ号に合わせて生活をしているところもあり、その日に何か需要があるというよりもつばめ号が運行しているから買い物しようなどの動きとなっています。

臼井委員 今回から本格運行になるということですが、これまでの収支状況はどのようになっているのでしょうか？また何か補助制度を活用する予定でしょうか？

事務局 収支については黒字では無く、補助制度の活用については市の方でも補助金が出せるように制度設計しています。

梶田先生 収支が黒字では無いというのは協賛金も含めてでしょうか？

事務局 協賛金については収入の6割ほどをいただいております。それでも収支は追いつかないため、市の方でも補助制度が出来ないか検討しています。

有吉副会長 乗れない問題での乗客の積み残しについては車両が大きくなることで解消されることを期待しています。資料構成については、地域の方が国交省の補助を受けながら、乗れる人数等どういう使い方が出来るかを考えながら運用していることがより分かると良いと思われます。つばめ号はサービスを提供する側と利用する側が歩み寄りながら運用している良い事例だと思いますので、地域の方や地元事業者の方などのどういう方たちがどういうモチベーションで実施しているのかがあるとより横展開のしやすい、わかりやすい資料になると思われます。

事務局 ありがとうございます。

谷岡委員 つばめフレンズは看護師さんや薬剤師さんなどの医療従事者の方々が健康維持を目的として実施されています。地元の自治会長さんにも周知いただくなどご協力いただき、お互い、つばめ号を通して会話をするなど、地域のコミュニケーションの1つにもなっています。過年度の取組ではピーク時間に乗合が満車となることが課題でしたが、来年度の取組では車両が大きくなることで多くの方にご利用頂ければと思います。

有吉副会長 なぜ医療従事者の方々がこんなにも協力してくれているのか、医療従事者にとってもどんなメリットがあるのかをより具体的に分析できると良いと思いますし、交通をいろんな方に使っていただくことが持続可能な取組に繋がっていくと思います。

(5) 川崎区の一部におけるオンデマンド交通「のるーと KAWASAKI」の本格運行について【協議事項】

(6) 令和7年度第5回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について【報告事項】

梶田会長 ありがとうございます。それでは他はございませんでしょうか。

それでは続いて、「議事 5、川崎区の一部におけるオンデマンド交通「のるーと KAWASAKI」の本格運行について」及び「議事 6、令和7年度第5回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

- 事務局 (資料5、6より、内容を説明。)
- 梶田会長 はい、ありがとうございます。それでは、先ほどのご説明の内容で何かご質問等ございましたらお願いできればと思います。いかがでしょうか。
- 梶田会長 この取組は無償から有償に変わったときに、無償時の利用者数に戻っているのか等、状況としてはどのように見ているのでしょうか？
- 臨港バス 具体的な数字は申し上げられませんが、2023年初年度の無償運行に比べると利用者は減っており、収支としては厳しい状況です。
- 梶田会長 バス路線の少ない横方向に利用されておりますが、利用、収支状況としては厳しいですね。ありがとうございます。他何かご質問等いかがでしょうか？
- 臼井委員 収支状況厳しいというお話もありましたが、実装を目指すとなると持続可能な収支がプラスになるような交通施策が必要になると思われれます。そのような将来的に収支がプラスになるような施策や見直しはあるのでしょうか？
- 臨港バス 今の時点で収支がプラスになることは厳しいと考えています。収支の考え方としては、大型車両からより運転しやすい車両へ移行するドライバーの働き口を確保しつつ、のる一とと路線バスを組み合わせた運行体制について検討を進めていきます。
- 臼井委員 ありがとうございます。
- 梶田先生 エリアについては2台で賄えている状況でしょうか？
- 臨港バス お客様の予約で満席になることはあまりないため、2台運行でも十分な状況ではあります。
- 梶田先生 過年度の実験結果では土曜日の利用者が多いと伺っていましたが、実際の状況はどうでしょうか？
- 臨港バス 土曜日は比較的利用が多く、ご家族で利用いただくことが多い印象です。そのため平日では単独での利用が多いですが、土曜日は1つの予約に複数人で乗車される場合が多いです。運行回数は平日とあまり変わりませんが、1回の乗車人数が増え、利用者増となっております。
- 坂尾委員 運賃500円はお客様のニーズからするとどのように見られているのでしょうか？
- 臨港バス 一部では高いというご意見もいただいておりますが、多くは500円でも運行してほしいという継続を望むご意見となっておりますので、500円のまま本格運行をさせていただく方針です。
- 有吉副会長 過年度より実証実験をされているということですが、データも収集されていると思われれます。現状ターゲット利用者の属性としてはどのような方が良いと考えられているのでしょうか？
- 臨港バス 川崎区内の路線バスが駅を基点として放射状に伸びており、そこを横断する南北の路線バスが少ないため、大師地区から田島地区を結ぶような南北方向に利用される方が多いです。
- 有吉副会長 ありがとうございます。そういった方々は、年齢層や利用する時間帯等を組み合わせることで、大体どういう属性・背景で利用されているか分析できると思います

が、そのあたりはいかがでしょうか？

臨港バス 今年度から電話予約をはじめましたが、今までアプリでしか予約が出来なかったことから、高齢者の利用よりは30代から40代の女性の方の利用が多い傾向にあります。

有吉副会長 単体でのご利用が多いですか？それともお子さま連れが多いですか？

臨港バス お子さま連れが多いです。お子さまに関しては路線バスと同じ料金設定のため、大人と一緒にであれば2名まで無償でご乗車いただけます。

有吉副会長 せっかくデータを取られているのであれば、もう一声、町丁目としてどの辺に住まわれているのか、属性として仕事をされているか、車を持っているかなどが組み合わせ合わせて情報収集していただけると、誰がどこで困っているかなどの解像度が上がってくると思われます。たとえば未就学のお子さまを連れている方もいれば、もう少し上の年齢のお子さまを送迎するのに利用されている方もいると思われますし、ご家族で利用されると費用面の負担も大きいので、そこをグループ割などで負担を少なくする等、民間企業さんが主体で実施されているというところで、そのような戦略ができることもメリットだと思いますので、ご検討いただければと思います。あとは既存路線バスとの乗り継ぎ割についてはあり得るのでしょうか？

臨港バス 当社としても川崎駅までは既存の路線バスをご利用いただき、のり一とのエリアについてはオンデマンドバスへ乗り継いで利用いただくことを想定して取り組んでいますので、乗り継ぎ割についても検討していきたいと考えています。

有吉副会長 川崎市の政策の中でも乗り継ぎに対してどれだけ受容してもらうかを重要視していて、そこを緩和する工夫としてモビリティハブを掲げられているのだと思います。この川崎区内の運行エリアを考えた時に、どこら辺が適しているのか、ただ場所があれば良いのか、もしくは運営施設と連携することで乗り換えや乗り継ぎ自体が対して気にならないような状況が作れるとより良い取組になると思われます。そのような意味でどこか核になるような場所やポイントはありますか？

川崎市 我々としては今年度実証実験をこののり一と KAWASAKI のエリアでも行っておりますが、場所で言うとミーティングポイント K27 の運行エリア内で駅からも一定距離のある、バス停に近い場所を選定しております。今後川崎市としてはこの場所だけではなく、様々な場所でどのような状況であれば適切に提供できるのか色々なパターンを試して検証していきたいと考えています。

有吉副会長 ありがとうございます。恐らく川崎市民の皆様の中では「川崎駅に行けば何とかなる」という認識があると思いますが、そこをもう少し地域レベルに落として「ここに行けば何とかなる」という地区の中でのポイントが各地域に出てくると、大きな路線に乗り継いだり各地域の場所へ分散したりという使い方で出来ると思われます。その様な場所が K27 の話のようにうまく展開いただけると良いと思われます。

梶田会長 はい、ありがとうございます。それでは以上で取組みについての説明が終わりましたが、協議事項3つに関しまして、ご説明いただいた内容で本格運行に進めるといことですがよろしいでしょうか？

一 同 (意見なし)

梶田会長 はい、ありがとうございます。それでは協議事項 3 つに関しまして、協議が調ったということで本格運行に向けて進めさせていただきます。

(7) 地域公共交通に係る意見交換 【報告事項】

梶田会長 それでは最後ですが「議事 7、地域公共交通に係る意見交換」につきまして、これまでの取組報告を含め、委員の皆様から、川崎市の交通課題に関するご意見・ご質問、または昨今の状況について情報共有等がありましたらお願いいたします。

橋山委員 神奈川全体のお話として、バス事業者としては、コロナ渦で利用者が減少してから戻っておらず、往年コロナ前の 1 割から 1 割 5 分、各バス事業者戻っていない状況です。先ほどから乗務員不足のお話もありますが、各バス事業者、乗務員の待遇改善も含めて運賃改定を 1 回目、2 回目と実施するなど進めております。関係者の皆様にもご理解いただければと思います。

梶田会長 はい、ありがとうございます。運転手不足はなかなか改善が難しいですかね？

橋山委員 やはり、朝早く夜遅い仕事であり、365 日のエッセンシャルワーカーであるため、今の若い方がなかなか入ってこないのが現状です。中途採用職員については大体 40 代後半から 50 代、60 代の方を採用しているのが現状で、その方々を含めてなんとか運行している状況です。運転手の年齢についても平均 54~55 歳となっておりますので、このまま若い方が入ってこないと今後も高齢化が進み、路線バスが維持出来ていけるのか、瀬戸際に入っているような状況です。

梶田会長 ありがとうございます。それではタクシー協会様からもお願いいたします。

稲田委員 タクシー業界としても乗務員不足がございまして、今週金曜日にもハローワークさんで 5 社合同説明会を実施させていただきます。説明会等を実施すると、毎回かなりの数の方が面接には来られますが、その中でも一部の方が入社に至っている状況です。また大師橋駅駅前交通広場についてはオープン後、視察に行きましたが、作っていただいたタクシー乗り場はまだ認知がされておらず、あまりお客様はいない状況でした。もう少し羽田空港や臨海部へ利用される方がいらっしゃればと思いますので、もう少し PR いただけるとありがたいです。

梶田会長 はい、ありがとうございます。

関委員 天空橋の自動運転を利用する際に大師橋の駅についても拝見しましたが、閑散としており寂しい印象を受けました。駅を降りてすぐの場所がタクシー乗り場ではなく、川崎市は日本で一番初めにユニバーサルデザインタクシー対応の乗り場が出来た街でもありますので、駅を降りてすぐタクシー乗り場があった方が、ご利用者様にも良く、理想的なのではないかと思えます。武蔵小杉は駅を降りてすぐタクシー乗り場がある。

タクシー協会の話では、昨年、日本交通グループがメインで自動運転の実証をしているということもあり、今年はタクシー業界が自動運転を実施していく流れになっておりますので、そのようなことも視野に入れて取り組んでいかなければならないと感じています。

梶田会長 はい、ありがとうございます。

村岡委員 自動運転については、海外でも自動運転が実施されていて、実際の映像などを目にすることもあります。タクシーの最終的なところは、これからの先のことにはなると思いますが、ある程度バスと併用した自動運転タクシーも活用されていくのではないかと感じています。交通事業主としてある程度ノウハウはもっていると思いますので、タクシー業界も絡めて進めていきたいと思っています。

運転手不足については、今タクシー業界ではアプリで配車を行うことが浸透しており、車が足りていない地域が少なくなりつつあります。一方で年々手数料等の配車システムにかかる費用が上がっている傾向にもありますので、そういった費用の上昇について要望書等出していければと思っています。

梶田会長 はい、ありがとうございます。

増村委員 タクシー業界としては、ハローワークと連携したり、賃金を上げるように取り組んでみたり、ライドシェアに積極的に取り組んでみたりと、乗務員を増やそうという取組をしてきた結果、一時期に比べると乗務員不足は解消されている部分はあるのではないかと思います。ただ、一方で地域差がすごくあるようにも思われ、運行している川崎市の北部地域では、需要に対して供給が追い付いていない印象があります。特に麻生区に関しては、バス事業者さんの手も届いていない部分が多く、柿生駅、新百合ヶ丘駅を中心にタクシーを運行しておりますが、そこから北部に関してはバス路線が無い部分も多くあります。そうした中で、麻生区は今平均寿命が高く、そのような方たちの日々の病院に行く等の足が無い状況で、我々としても何とかしたいと思っているのですが、全く追い付いていないことを実感しております。そうした中、片平でのコミュニティ交通に関しては、なんとか成功の方向に導いていただきたいと考えています。その中でもつばめ号に関しては成功に近づいているものすごく良いモデルであると思います。ただ、タクシー車両を使っているうちは黒字化は無いと思われ、タクシー事業者も協力させていただいてはおりますが、軌道に乗るまでは市としてもバックアップしていただいて、成功を目指してほしいと思います。

梶田会長 はい、ありがとうございます。

谷岡委員 つばめ号はタクシー業者さんあってこそ、運行することが出来ておりますので、これから多岐に空いているスペースや時間を用いて、「こうやったら出来る」というようなアドバイスも取り入れられればと思いますので、これからは是非、よろしく願いいたします。

有吉副会長 臨港バスの方に来ていただいているのでお伺いしたいのですが、バス事業者さんが自らオンデマンドバスを運行することはすごく良いことだと思っていて、収支の厳しさはあると思いますが、その先のことについてもお話いただけたのはすごくよかったです。一方で市民の皆様には運転手さんの普通二種免許の話はあまりピンとこないと思われ、バス会社さんがオンデマンドを運行することで、市民の皆様がどのような恩恵を受けられるのかを分かりやすく説明していくことが大切だと思います。そのような観点からいうと、市民の皆様はどのような恩恵が受けられるのでしょうか？

臨 港 バ ス 現状からいうと、路線バスが減便する中で、のり一とが運行することでご利用者様は乗り継ぎ手間が発生してしまいますが、全く移動の足が無くなるのではなく、のり一とで路線バスのある場所まで乗り継いでいただければ、家の近くまで、今まで以上に歩く距離が減らすことが出来ます。

有吉副会長 公共交通という生活の足を維持していく時に、バス事業者さんから今までと同じように大型二種の車両で維持していくのかを投げかけていただくことは大事だと思いますし、皆がうまく工夫すればのり一のような皆が乗れるサイズ感の乗り物でも生活が成り立つという実感を持っていただけるなら、そのような乗り物なら運転できるという人材も確保できる可能性もあるため、上手く説明いただくと、臨港バスさんがのり一を運行することは自分たちにもちゃんと恩恵があることなんだなという認識に繋がることと思います。そのため、伝え方が大事だと思いますので、上手く工夫していただければと思います。

塚 田 委 員 有吉先生がおっしゃられている通り、まずは知っていただくことが最優先であると考えています。市としてもかなり頑張っていて広報を打っている状況ではありますが、未だに浸透出来ておりません。そこに関しては臨港バス様からも地域の皆様に説明いただく等、市としても知っていただけるようにバックアップしていきたいと思えます。

有吉副会長 つばめ号のように地域の方々と折り合いをつけて成功にすすめていくことも可能性はあるため、ハイスペックなものを提供するのではなく、地域の認知を深めて、どのような形がその地域にとってよいのか、折り合いを付けながら検討していただくとより良い形になると思えます。

塚 田 委 員 川崎市としては明日まで、自動運転バスの川崎病院線を実証運行しておりまして、今年度は通しで 140 日間の自動運転バスの実証実験を行っております。これだけの日数をレベル 2 で走っている事例は他にございません。ありがたいことに現状事故無く取組めており、システム側の努力もありまして、大変スムーズに走るようになりました。ただ道路交通法を順守するシステム上、一般車両との車間距離の関係で車線変更が出来ない場面等もありますため、交通ルールの周知もしっかりと行っていきたいと考えています。先ほど明生タクシー様からとお話にありましたが、最終的には末端の交通になるところが自動運転になることが大事だと考えています。タクシー業界含め、一緒に取り組んでいければと思いますので、是非、よろしく願いいたします。

梶 田 会 長 はい、ありがとうございます。また色々な視点から意見交換をしながら、議論を進めてまいりたいと思えます。

それでは、報告事項 「地域公共交通に係る意見交換」については、以上といたします。

本日の議事は以上となりますが、その他、皆様からご連絡事項等がありましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

事 務 局 梶田会長ありがとうございました。

本日は協議事項及び報告事項 7 件の議事につきまして、円滑な進行にご協力いた

だき、改めて委員の皆様にお礼申し上げます。また、本日は梶田会長におかれましては、議事進行を頂き誠にありがとうございました。

来年度につきましても、引き続き各地区への支援の取組を進めるとともに、新技術・新制度を活用した取組を展開することで、コミュニティ交通の充実を図り、より利用しやすい地域公共交通環境の形成を目指してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。また、次回の本会議につきましては、開催時期は未定となっておりますけれども、詳細が決定次第、皆さまにご案内をさせていただきます。尚、本日の議事録につきましては、事務局にて作成をさせていただきます。本市のホームページ上で公開させていただきます。以上で、令和7年度第3回川崎市地域公共交通会議を閉会とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。